

市民と共に進める 「次世代都市こまつ」へ

新型コロナウイルス感染症を克服し、社会経済活動が再び勢いを取り戻すことができるよう、感染拡大防止対策はもとより、暮らしと経済面での対策を切れ目なく実施します。

問い合わせ

財政課 ☎24・8144

令和3年度の予算と施策の考え方

- 1.北陸新幹線や空港の立地を大いに生かします。交通機能をさらに高め、力強く成長する産業づくり、働く場所と仕事の創出を推進。**日本海側の拠点都市**を目指します。
- 2.産業の創出はまちの成長につながります。仕事を不得、家庭をつくり、子供たちを育てる親や家族が、**子供たちの未来に希望を持てるまち**を目指します。
- 3.高齢化が進む中、**誰もが安心して暮らし続けられる環境づくり**を進めます。自然災害や施設の老朽化、新型コロナウイルス感染症など、市民の健康と暮らしを守るための施策を展開します。
- 4.**幸せを実感できる**よう暮らしの質を高めていきます。生涯学習やスポーツ・文化の振興、地域コミュニティの活動支援など、市民の幸せづくりを進めます。

市政運営における 3つの重点方針

- 好循環をつくり出すまちづくりをスタートしていきます。
- 市民の皆さんをはじめ、多様な方々とのコミュニケーションを重視します。
- 持続的な成長に向け、新しいまちづくりにも積極的に挑戦します。

特別会計

国民健康保険など特定の事業を行うために、一般会計とは別に保険料などの収入を集めて運営する事業が特別会計です。

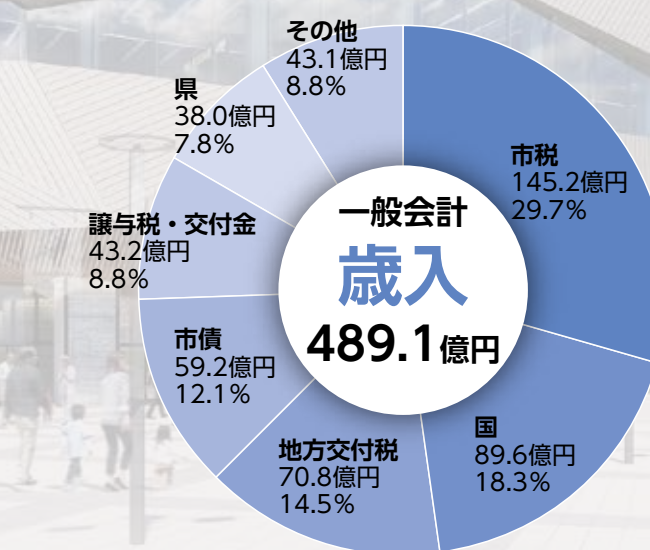
会計名	予算額	対前年比
国民健康保険事業	99億8,200万円	▲2.7%
介護保険事業	101億4,030万円	0.1%
公債管理	98億3,730万円	8.5%
産業団地事業	7億5,500万円	▲21.8%
後期高齢者医療	16億4,500万円	3.7%
合計	323億5,960万円	1.1%

企業会計

病院や水道など、料金収入を集めて民間企業のように事業収益で運営する事業が企業会計です。

会計名	予算額	対前年比
水道事業	35億4,070万円	9.1%
下水道事業	88億4,470万円	1.7%
病院事業	95億9,200万円	▲3.8%
合計	219億7,740万円	0.3%

一般会計

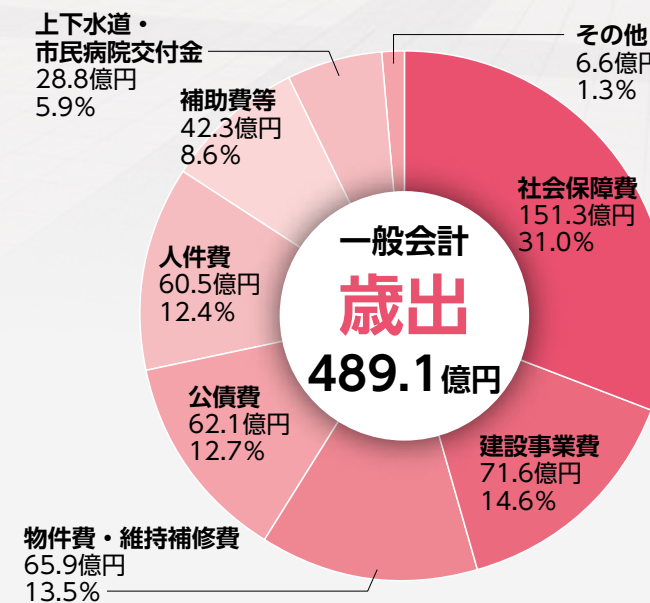


歳入の特徴

市税が、法人・個人市民税の減収見込み、中小事業者の固定資産減免措置などにより145.2億円(前年度比△15.4億円)となる一方、市税減収等の影響により普通交付税と臨時財政対策債を合わせた実質普通交付税が14.7億円の増となっています。

国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等により4.5億円の増となっています。

全会計総額
1,032.5億円



歳出の特徴

社会保障費が、認定こども園の運営や障がい者・高齢者福祉の充実などにより前年度比7.3億円増の151.3億円、補助費等が、事業者支援金やプレミアム付き商品券などのコロナ対策等により9.5億円増の42.3億円となっています。

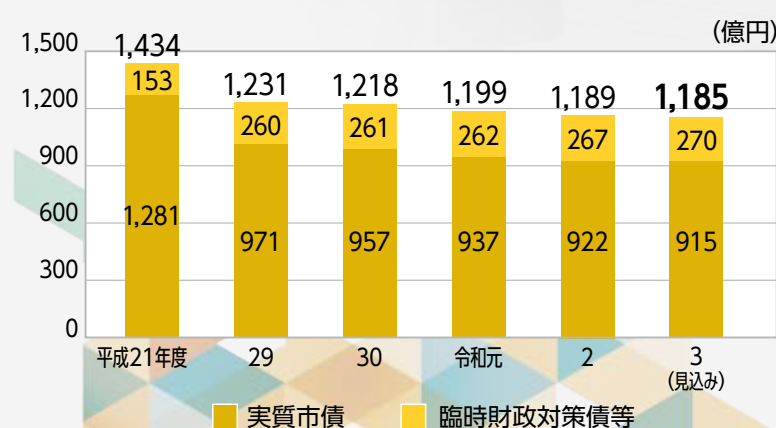
公債費は、ほっと石川観光ファンドに出資するために借りていた市債償還などにより4.4億円の増となっています。

市債残高の状況

小松市の市債残高は、大型事業の償還完了や繰上償還の実施により減少しています。

令和3年度末の市債残高見込みは、全会計で約1,185億円、臨時財政対策債等を除く実質市債で915億円となっています。

今後も財政健全化を図り、将来負担の更なる軽減に努めていきます。



主な施策の概要

令和3年度の主な事業をお知らせします。



向本折町に合葬墓・納骨堂を整備



新幹線駅舎 令和4年夏完成
令和6年春開業予定



粟津駅の利便性向上



サテライトオフィスの推進

新型コロナウイルス感染症対策の充実

- 施設のPCR検査費等を助成、簡易検査キットを備蓄 1,500万円
- 新たに妊娠した人に赤ちゃん1人あたり5万円を給付 4,950万円
- 市民税非課税世帯に高齢者1人あたり1万円を給付 9,120万円
- 子育て世帯に子供1人あたり1万円を給付 1億7,300万円
- 所得が低い子育て世帯に子供1人あたり5万円を給付 1億5,730万円
- コロナ禍で影響を受けた生活困窮者への支援 4,880万円
- 電子マネーを活用した商品券発行(プレミアム率100%) 2億6,500万円
- 売上が減少した事業者を支援、
飲食業等の創業支援制度を創設など 3億500万円
- 18歳未満の国民健康保険税の軽減 2,000万円
- 東京オリパラ事前合宿に係るPCR検査・空席確保等の
感染症対策 1億1,910万円

4 新幹線駅・空港・交通インフラを活かし、 力強く成長する産業都市へ

新幹線小松開業に向けて

- 小松駅プロムナード実施設計、東口広場の整備 8億5,410万円
- 小松駅舎・高架下施設内の展示作品の制作を開始 5,000万円
- 小松駅-空港間自動運転バスの導入調査、小松版MaaS^{マース}の構築 1,200万円
- 加賀立国1200年に向けた環境整備(河田山古墳群史跡資料館、
石部神社周辺等) 1,000万円

交通インフラの更なる充実

- 粟津駅の東西連絡通路と駅東西広場の整備(予備設計等) 2,000万円
- 幸八幡線の整備(令和4年度完成予定) 2億800万円
- 幹線道路や生活道路等の基盤整備を促進
・緊急社会基盤整備(道路・水路) 5,000万円
・公共下水道整備 9億454万円

稼げる産業づくり

- 安宅新地区土地区画整理の造成に着手 7億4,900万円
- リモートワークなど多様な働き方に対応した
サテライトオフィスの推進(立地支援補助金) 1,000万円
- 小松市産特別栽培米を学校給食に提供 200万円
- 就農(園芸)研修生への支援で担い手を確保 240万円

魅力的な地域資源づくり

- 能美市と連携した九谷焼のブランド化 3,170万円
- 11/13(土)~14(日)に日本遺産サミットin小松を開催予定 2,400万円

5 新しいまちづくりへの挑戦を

適正な行政運営と民間パワーの活用

- 電子申請システムなど市民や市役所のデジタル化を推進 5,430万円
- 下水道施設維持管理業務の民間委託を拡大(債務負担行為10億5,900万円)

1 子供たちの未来が光り輝くまちへ

お父さん・お母さんが幸せを感じられるように

- コロナ禍において高校進学に励む中学3年生を対象に
2学期から給食無償化を実施 4,200万円
- 学校・家庭間の出欠連絡・お便り等にデジタル連絡ツールを導入 240万円
- 多胎妊婦の健診費用への助成を拡充(妊婦・乳児健診費) 1億1,620万円

子供たちの成長のために

- 全小中学校を対象に学校施設環境を充実 7,700万円
- 令和4年度開設に向けた新施設の建設
・松東地域こども園整備 4億2,294万円
・のしろ児童館整備 4億3,890万円
・国府児童クラブ施設整備 1億3,000万円
- AI学習コンテンツ、GIGAタブレットの活用 1億4,120万円

2 みんなが幸せを実感できるまちへ

暮らしをもっと楽しく、誰もが輝けるように

- 未来型図書館のあり方等を調査・研究 100万円
- オンライン型運動指導など高齢者フレイル予防の
デジタル化を推進 200万円

持続的な地域づくりを

- こまつドーム(コミュニティ棟)の改修 4億9,600万円
- 子供・障がい者・高齢者・生活困窮者等の
総合的・一体的支援 2,000万円
- 時代と住民のニーズに合わせた合葬墓・納骨堂の整備 3億9,100万円
- 市民病院に血液内科新設(入院治療用病床整備)設計、
相談ブース改修 1,800万円

3 生涯暮らし続けられるまちへ

安全・安心のまちづくり

- スマホ等を活用した119映像通報システムの導入 50万円
- 高機能ドローン整備による災害現場・鳥獣対策活動の
機能向上と効率アップ 600万円
- クマ対策プラン・こまつモデルの取り組みを推進 3,240万円
- 小松総合体育館の空調設備新設、アリーナ床改修、LED化等 8,850万円
(債務負担行為2億650万円)
- 小松屋内水泳プールの安全対策、設備等改修 2億600万円



2学期より中学3年生の学校給食を無償化



令和4年4月開園を目指し
松東地域こども園を整備